

評価基準表

評価項目	評価基準
企業実績（配点10）	
業務実績	<p>過去10年間（平成25年度から令和4年度まで）において、次のいずれかの業務について、元請として受託し、完了した実績があるか。</p> <p>(1) 火葬場の整備に関する基本構想又は基本計画策定業務</p> <p>(2) 火葬場の整備に関する事業手法の検討業務（PFI等導入可能性調査）</p> <p>(3) 国又は地方公共団体がPFI（BOT方式）又はDBO方式で発注する事業に係る事業者選定アドバイザリー業務</p> <p>※ (1)(2)の業務については、火葬炉が11炉以上の火葬場に関する実績がある場合は優位に評価する。</p> <p>※ (3)の業務については、延べ床面積が4,100㎡以上の業務又は火葬場に関する実績がある場合は優位に評価する。</p>
配置予定技術者実績（配点15）	
保有資格	管理技術者、主担当技術者が業務を遂行する上で有効な資格等を有しているか。
業務実績	<p>管理技術者、主担当技術者が過去10年間（平成25年度から令和4年度まで）において、次のいずれかの業務について実施し、完了した実績があるか。</p> <p>(1) 火葬場の整備に関する基本構想又は基本計画策定業務</p> <p>(2) 火葬場の整備に関する事業手法の検討業務（PFI等導入可能性調査）</p> <p>(3) 国又は地方公共団体がPFI（BOT方式）又はDBO方式で発注する事業に係る事業者選定アドバイザリー業務</p> <p>※ 管理技術者で一級建築士と技術士の両方の資格保有者を配置できる場合は優位に評価する</p> <p>※ (1)(2)の業務については、火葬炉が11炉以上の火葬場に関する実績がある場合は優位に評価する。</p> <p>※ (3)の業務については、延べ床面積が4,100㎡以上の業務又は火葬場に関する実績がある場合は優位に評価する。</p>
実施方針（配点10）	
業務理解度	業務の目的、内容を十分に理解し、本業務を確実に実施できると見込まれる事業者であるか。
実施手順	作業項目の想定が適切であり、実施手順、業務実施時期の把握が適切であるか。
実施体制（配点5）	
人員配置 役割分担等	<p>業務執行のために必要な人員、業務実績の十分な技術者が配置され、円滑な業務の履行が期待できるか。</p> <p>※ 法務、金融・会計、環境の専門的知識を有するものとの連携が図られる場合は優位に評価する。</p>
企画提案書評価 テーマ1（配点25） 要求水準を定める上での課題とその対策	
的確性	組合新斎場の設計・建設、及び供用開始後の維持管理・運営に係る要求水準に加え、現斎場を運営しながらの建設であることの課題を整理し、その対策について民間の創意工夫が最大限発揮されるような配慮がなされているか。
実現性	提案内容（独自提案含む）が明確になっているか。
企画提案書評価 テーマ2（配点20） 業務スケジュールの管理に関する提案	
的確性	組合における議会時期等を把握したスケジュールとなっているか、事業進捗に遅れが出ない対策は講じているか、遅れた場合の対策について計画されているか、タイムスケジュール管理について具体的な提案がされているか。
実現性	提案内容（独自提案含む）が明確になっているか。
企画提案書評価 テーマ3（配点15） 概算事業費の精度向上に関する提案	
的確性	概算事業費の算出においてその精度を向上させ、応募事業者に組合の意思を反映させる方法等について具体的な提案がされているか。
実現性	提案内容（独自提案含む）が明確になっているか。
候補者選定	<p>総合評価方式・・・総合評価値の上位1位を受託候補者、2位を次点候補者として決定する</p> <p>技術評価点+価格点＝総合評価値（500点満点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術評価配点合計×選定委員数×0.8＝技術評価点（400点満点） ・ 100×最低見積価格／参考見積価格＝価格点（100点満点） ・ 技術評価点及び価格点の算出に当たっては少数第2位までを有効とし、小数第3位以下を切り捨てる。 ・ 総合評価値が同点の場合は、「技術評価点」が高い方を受託候補者とする。「技術評価点」「価格点」ともに同点の場合は、くじ引きで決定する。